地域コーディネーターがつなぐ

仁高と地域

総合的な探究の時間が充実しています



地域コーディネーター
越智 めぐみ

仁賀保高校では、「総合的な探究の時間」を通して、にかほ市をフィールドとした探究学習に取り組んでいます。地域の人との出会いや体験から魅力や課題を発見し、自ら問いを立て、調査や企画、実践へとつなげます。

また、情報メディア科の特色を生かして、デジタル技術を活用した探究や表現にも挑戦し、地域への理解を深めながら、主体的に考え、行動し、発信する力を育みます。

仁高 × SDGs

地域の未来を、自分たちで考える

NPO法人環境あきた県民フォーラムの講師を招いてのSDGs講座では、SDGsと地域活性のつながりについて学びました。

生徒同士でグループワークを行い、にかほ市の魅力や課題をSDGsと関連づけて「自分たちに何ができるか」という視点で考えを深めました。



環境保全の専門家によるSDGs講座

仁高 × 歴史

知って、歩いて、ふるさとの歴史を発見

象潟郷土資料館の文化財・資料館資料調査員を招き、にかほ市の歴史について学びました。

その後、認定ジオガイドでもある仁賀保高校の教員の案内で蚶満寺を訪れ、境内を巡りながら九十九島や蚶満寺について理解を深めました。



文化財・資料館資料調査員による歴史講座



教員のガイドによる
蚶満寺フィールドワーク

仁高 × 学習センター

「やってみたい」を一緒にカタチに

仁賀保高校生の放課後の学習や活動を支援するにかほ市学習センターでは、1年生のフィールドワークへの同行や、2年生の班別の探究活動への参加など、総合的な探究の時間のさまざまな場面で生徒たちの学びに伴走しています。

放課後の活動では、国際的なロボットコンテスト「WRO」に向けた活動を伴走し、秋田県中央地区予選会で優勝、全国大会への出場を果たしました。



WRO秋田県中央地区予選会優勝

仁高 × いちじく畑

いちじく畑から、地域の農業を考える

地域のいちじく畑を訪れ、生産者から栽培方法や工夫について学びました。

また、生産者の高齢化や担い手不足といった地域の課題にも触れ、地域の特産品を未来へつないでいくために何ができるのか、生徒たちが考えるきっかけとなりました。



いちじくの生産と流通に携わる佐藤玲さんによる講義

仁高 × ジオ

仁賀保高校では、鳥海山・飛島ジオパークを舞台に、現地での体験や専門家との対話を通した学びも盛んです。2年生以降の探究活動では、ジオパークを題材に、自然の魅力の発信や地域の防災など、それぞれの視点から探究を深めるグループもあります。

1年生 獅子ヶ鼻湿原フィールドワーク

1年生が獅子ヶ鼻湿原を訪れ、ジオパークのガイドとともにフィールドワークを行いました。

実際に現地を歩きながら、鳥海山の自然や大地の成り立ち、生態系などについて学びました。



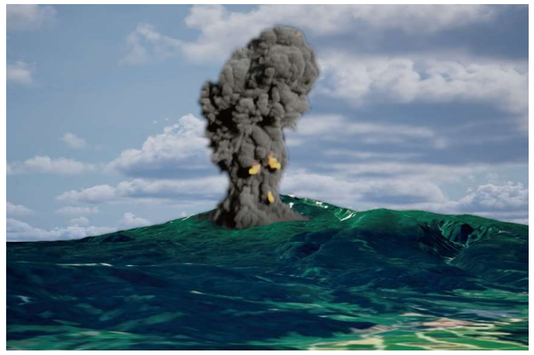
湧水の温度を体感

2年生 火山防災の意識向上を目指す

2年生の防災をテーマとするグループでは、鳥海山の噴火を題材に、防災を身近に伝える方法を考えています。

火山を専門とする秋田大学名誉教授の林先生から火山活動について学び、小学生の防災意識を高める実験教室を企画しました。

また、IT企業のゼロニウムと連携し、噴火シミュレーション動画の制作にも取り組んでいます。



専門家協力のもと生徒が作成した噴火シミュレーションCG

2年生 ジオの魅力を小学生に伝えたい

2年生のジオをテーマとするグループでは、獅子ヶ鼻湿原、奈曽の白滝、仁賀保高原など、生徒自身が興味を持った地域のジオサイトを、ジオパークの学習支援員とともに訪れました。

現地で専門的な説明を聞きながら地質や地形への理解を深め、その学びをもとに、小学生が楽しみながらジオパークに親しめる学習教材の制作を目指しています。



ジオサイトのフィールドワーク調査